

履修コード/科目名称	088601 / 社会科教育法 I		
開講年度・期	2019年 前期	開講曜日・時限	土曜日 4時限
単位数	2		
付記	◎予		
主担当教員氏名(カナ)	小川 光夫 (オガワ ミツオ)		
副担当教員氏名(カナ)			

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度の中学校学習指導要領社会科の改定の経緯及び基本方針、改訂の趣旨及び要点、社会科の各分野の目標、内容の取扱いに関する指導方法の学習 ・中学校社会科各分野の学習指導案の作成及び授業展開に関する指導方法と要点整理、各分野の授業目標、授業展開並びに観点別評価との関連性 ・教材資料、情報機器を活用した授業展開並びに観点別評価の工夫 ・平成29年度の中学校学習指導要領解説・社会科の移行措置を加味した授業展開 ・情報機器（パワーポイント）を利用した授業展開 		
到達目標(ねらい)	『中学校学習指導要領解説・社会科編』を活用して、中学校学習指導要領改訂の経緯及び社会科の各分野の内容、その取扱いなどについて考察し、実践的・先進的な学習指導案づくりについて追究することを通して社会科教諭としての素養を身に付けさせる。		
授業スケジュール	第1回	中学校学習指導要領改訂の経緯（1） 知識基盤社会の到来と社会科教育	
	第2回	中学校学習指導要領改訂の経緯（2） PISA調査と我が国の教育的課題	
	第3回	日本国憲法と教育基本法の改定	
	第4回	中学校学習指導要領解説・社会科の改定のポイント及び改訂の趣旨	
	第5回	社会科の目標及び各分野の要点	
	第6回	基礎的・基本的な知識、概要や技能の取得及び言語活動の充実	
	第7回	地理的分野の目標及び大項目・中項目の内容の取扱い。	
	第8回	地理的分野の学習指導案の実践例と指導案作成上の留意点及び内容の取扱い。	
	第9回	歴史的分野の目標及び大項目・中項目の内容の取扱い。	
	第10回	歴史的分野の学習指導案の実践例と指導案作成上の留意点及び内容の取扱い。	
	第11回	公民的分野の目標及び大項目・中項目の内容の取扱い。	
	第12回	公民的分野の学習指導案の実践例と指導案作成上の留意点及び内容の取扱い。	
	第13回	社会科各分野の指導案作成上の配慮事項及び政治・宗教に関する事項の取扱い。	
	第14回	授業目標と授業の導入・展開・まとめ及び評価」との関連性についての学習指導案の作成。	
	第15回	社会科各分野の授業実践例と情報機器及び教材の活用方法並びに学習指導案の作成。	
準備学習	社会科教育法は、小学校社会科を踏まえ、高等学校の教科『地歴科』及び『公民科』への橋渡しの役割をはたすものである。事前に小学校・中学校の社会科及び高等学校の『地歴科』・『公民科』の教科書及び参考書などを準備し、内容・指導上の注意、取扱いについて十分に把握しておくこと。		
履修上の留意点等	社会科教育法は、中学校社会科の教員採用試験に対応できるように教師としての資質・能力・態度の育成を図ることを主眼に置いているが、4年次の教育実習にも対応できるような授業を考えている。教師が授業放棄すれば生徒たちに多大な迷惑をかけることになり許されるものではない。社会科教育法でも無断欠席・遅刻は厳禁である。		
成績評価の方法	60 %	試験	
	5 %	レポート	
	5 %	小テスト	

	30 %	平常点
	※レポート提出は1回行う。	
教科書/テキスト	・文部科学省『中学校学習指導要領解説・社会科編』を教材とした『社会科教育法レポート』 小川光夫著（無料配布）	
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	『制定秘話と比較憲法から学ぶ日本国憲法』小川光夫著 清水書院	
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	社会科教育法は、学習指導要領に基づいて行われている。また教師になりたい者に対しては、全力をあげてバックアップしていきたい、と考えている。熱意あるアンケートを期待している。また、そういった学生の意見は積極的に取り入れ改善したいと思う。	
関連リンク		
実務経験がある教員による授業科目		